

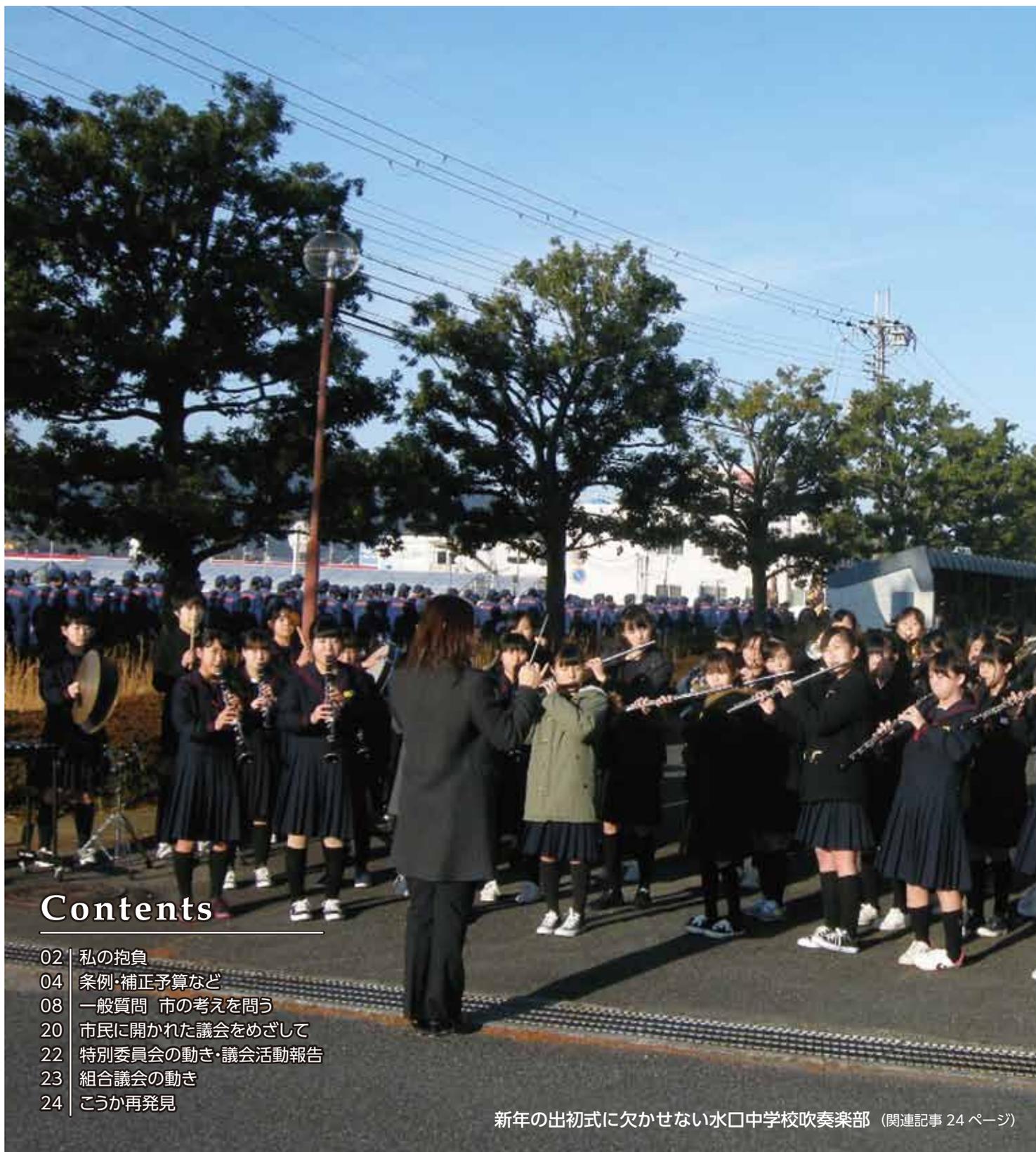
あなたとつなぐ

甲^{こうか}賀

市議会だより



vol. **45**
2016/2/1



Contents

- 02 | 私の抱負
- 04 | 条例・補正予算など
- 08 | 一般質問 市の考えを問う
- 20 | 市民に開かれた議会をめざして
- 22 | 特別委員会の動き・議会活動報告
- 23 | 組合議会の動き
- 24 | こうか再発見

新年の出初式に欠かせない水口中学校吹奏楽部 (関連記事 24 ページ)

抱負

竹村 貞男



「住民が主人公」という地方自治の精神を貫き、住民要求実現の為に働きます。

片山 修



安全安心の街づくりをモットーに「皆が住み良い街」になるよう活動します。

山中 善治



観光等産業的資源と、市内マンパワーとの連携により地方創生を進めます。

林田 久充



甲賀のまちづくりのため、市の意思決定に責任持つ議員として頑張ります。

議長 辻 重治



人口減少時代に立ち向かい、甲賀の特徴を生かし、元気な甲賀をめざします。
議会は、市民の皆さんにとって、わかりやすい議会であり、関心をもってもらえ、また活発に話し合え、存在感のある議会でありたいと考えます。

山岡 光広



新聞記者の経験生かし、いつも市民の目線で、要求実現へ粘り強く、全力投球。

的場 計利



時間が止まる時『時』を得る
— 禅僧の講話から—
物事の本質を見極め頑張ります。

田中 実



安全安心な、心が通う、うるおいと活力のあるまちづくりのために頑張ります。

森田 久生



皆様の声をしっかりと市政に届け、安全・安心・快適なまちづくりを目指します。

服部 治男



地方創生「甲賀の國づくりプロジェクト」を議会と執行機関で実のあるものに。

橋本 律子



女性・若者がよりに生きいき輝ける環境づくり、健康寿命延伸に向け頑張ります。

中西 弥兵衛



人口減少社会に対応したまちづくりでふるさと集落生活圏の形成を図る。

鵜飼 勲



議員としての真価を発揮するために、精進尽きること無く、まっすぐに進む。

2016年

私の



谷永 兼一

前例や既成概念にとらわれず、徹底的に市民目線で市政を前に進めます。



竹若 茂國

任期半ばの折り返し点、初志貫徹『やる気・元気・本気』で取り組みます。



戎脇 浩

前半の2年間を活かし、一期目であることに甘えることなく、より精進します。



小河 文人

まち、ひと、心を大切に、正しいことをまっすぐ美しい甲賀を目指します。



副議長 橋本 恒典

甲賀市は合併して10年余りが過ぎました。これからの10年は市の将来に向けた大切な10年です。人口減少社会に立ち向かい、甲賀市の持つ地域資源を最大限に活かしたまちづくりに市民の皆様とともに取り組んでまいります。



小西喜代次

憲法をくらしにいかし、住民こそ主人公、住民の声が届く市政実現をめざします。



田中 將之

小さな声を大切に。あなたの視線でまちづくりをモットーに頑張ります。



森嶋 克巳

人口減少の進む中、市民がより幸せな暮らしが出来るよう努力します。



田中 新人

市民の皆様の声を十分にお聴きし、市政の発展のため、誠心誠意尽くします。



安井 直明

切実な願い実現へ、行政の監視役。経験生かし、しっかり役割果たします。



加藤 和孝

誠実・愚直を信条に、安心・安全のまちづくり目指し取り組みます。



白坂萬里子

女性の活躍推進法が成立したのを機に、女性が輝く社会へと更に頑張ります。



土山 定信

皆さんに納得していただける市議会議員を貫きたい。

人事・条例・議員提案条例・補正予算 ほか

議員定数削減(27人から24人に)可決

平成27年12月定例会は11月30日から12月18日までの19日間にわたり開催され、人事2件、条例6件、平成27年度補正予算2件、意見書3件、その他20件の計33件を慎重審議しました。

人事

◆教育委員会委員の任命

松山顕子氏(土山町)
(まつやま あきこ)
(全員賛成により同意)

◆人権擁護委員の推薦

につき意見を求める
今井百合氏(信楽町)
(いまい ゆり)
(全員賛成により適任)

◆下水道事業設置等に関する条例

公営企業会計の導入を行うもの。
(全員賛成で可決)

◆非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

(全員賛成で可決)

◆税条例等の一部を改正する条例

(全員賛成で可決)

◆消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

(全員賛成で可決)

議員提案条例

◆議会議員定数条例の一部を改正する条例

市議会議員定数を、次回一般選挙から現

在の27人から3人減じて24人にするものです。(関連記事23面)

反対討論

議会基本条例前文では、市民との対話を進めるとある。今回は市民への説明会もない。議員の役割である行政チェック、願い実現の議席が減るため反対。

賛成討論

議員数と多様な意見反映は関連付けるべきではない。全国の人口9万人台平均議員数は23・8名。提案の定数24名は極めて妥当であり賛成する。
(賛成多数で可決)

補正予算

◆一般会計補正予算(第3号)

内貴橋架替事業などの補助採択事業のほか(仮称)西部学校給食センター実施設計業務など、1億3,500万円を追加するもの。
(全員賛成で可決)

◆病院事業会計補正予算(第1号)

(全員賛成で可決)

指定管理者の指定

水口児童クラブの指定管理者の指定をはじめ、市くすり学習館、かもしか荘、甲賀歴史民俗資料館など17施設の

指定管理

(全員賛成で可決)



わあーい高い、気をつけて
(放課後児童クラブ)

財産の取得

(仮称)甲賀市西部学校給食センター建設事業用地6,532㎡を、4億500万円で取得するもの。
(全員賛成で可決)

経営状況の報告

◆株式会社道の駅あいの土山経営状況の報告

第17期業務及び営業報告が行われた。売上9,040万円、当期純利益99万9千円。
18期は、さらに自由に立ち寄り快適に休憩できる宿駅と安定した経営をめざす。

専決処分等の報告

◆事故の和解

市道において、市有自動車及び相手方自動車双方の不注意による事故の損害賠償の和解の報告。

用語説明

【専決処分】

せんけつしよん
議会が議決・決定すべきことを市長が代わって処分することです。議会を招集する時間がないなど法律の規定により専決処分した場合は、その後に議会に報告し承認を求めることが必要です。また、議会が予め議決により処分事項を指定したものは、その後に議会への報告が必要です。

◆個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例
個人番号法の施行に伴い、市行政手続きにおける個人番号利用・特定個人情報の提供に必要事項を定めます。
(賛成多数で可決)

意見書

○：賛成 ●：反対

意見書案	提案者	討論		清風クラブ	市民クラブ・新しい風	公明党	日本共産党	無所属	可否
		賛成	反対						
ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書の提出について	竹村	森嶋	戎脇加藤	●	○	●	○	退席	否決
マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書の提出について	田中將	—	—	○	○	○	○	○	可決
ブラッドパッチ療法の保険適用および脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書の提出について	白坂	—	—	○	○	○	○	○	可決

ヘイトスピーチ 対策意見書 について



反対討論

最高裁の判断が示されて一年が経過する今日、実効性ある人種差別撤廃政策に繋げるには、もう少し具体的内容に踏み込む必要がある。

賛成討論

問題意識はあるが、民主主義の根幹たる言論の自由を侵すリスクを内在した、新たな法規制を求めることは、議会として無責任である。

賛成討論

ヘイトスピーチ対策は、「表現の自由」の問題ではなく、人種差別的行為そのものを無くす為のもので法整備を急ぐべきと考える。

臨時会 11月10日

平成27年第4回臨時会は1日間の会期で専決報告4件、人事2件の審議と議会人事の改選を行いました。

人事

公平委員会委員の選任同意
西川みき子氏（水口町）
（にしかわ みきこ）
（全員賛成にて同意）

監査委員の選任

中西弥兵衛
（賛成多数にて同意）

議会人事

◆正副議長

議長 辻 重治
副議長 橋本 恒典

◆総務常任委員会

○は委員長、○は副委員長
◎林田 久充
○山岡 光広
的場 計利・白坂萬里子
土山 定信・服部 治男

◆民生常任委員会

◎戎脇 浩
○田中 新人
竹若 茂國・安井 直明
加藤 和孝・中西弥兵衛
橋本 律子

◆文教常任委員会

◎田中 実
○竹村 貞男
谷永 兼二・片山 修
山中 善治・橋本 恒典

◆産業建設常任委員会

◎森田 久生
○森嶋 克巳
小河 文人・小西喜代次
田中 將之・鶴飼 勲

◆議会運営委員会

◎服部 治男
○安井 直明
戎脇 浩・林田 久充
森田 久生・田中 実
白坂萬里子・土山 定信

◆特別委員会

◎田中 將之
○片山 修

◆庁舎整備特別委員会

◎服部 治男
○山岡 光広
竹若 茂國・戎脇 浩
小河 文人・森田 久生
白坂萬里子

◆甲賀広域行政組合 議会議員

山中 善治・山岡 光広
土山 定信・白坂萬里子
橋本 律子

◆公立甲賀病院組合 議会議員

小河 文人・竹村 貞男
森嶋 克巳・鶴飼 勲
中西弥兵衛

◆専決処分報告

市有地からの落石、倒木によるものや市道の舗装の窪みに起因する事故により損害を与えたことによる損害賠償の和解の報告。

民生常任委員会

市民の生活と環境、福祉に関わる委員会です

所管事務調査

健康福祉部・市民環境部の 計画等6件を調査

◎避難行動要支援者同意者名簿について

予め要支援者の方の同意を得ることにより、日常的な見守りや災害時の支援につなげるもので、作成状況を調査しました。

委員より回収率のアップに向けて、特に

一人暮らしの要支援者の方々への対応、また災害時により実効性のある名簿とするための意見が出されました。

本件では先般の依頼文書の誤送付について、改善策を委員会に提示するよう委員長名にて求めました。



総務常任委員会

総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です

付託議案

行政手続きによる個人番号の利用・提供に関する条例を審査

新規条例1件を審査

12月15日に委員会を開催し、議案1件について慎重に審査しました。

本条例は、平成25年5月に公布された「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」では、地方公共

団体において、独自利用事務についても条例で定めることにより、個人番号の利用等が認められるため、提案されたものです。

第3条にあり、適正な事務の執行を確保する。8事務と規定しているが、独自に抽出した基準は何か。

福祉医療などの所得制限を伴う事務に限定した。

◎反対討論

マイナンバー制度そのものに問題がある。まだまだ不十分、不明瞭な部分もあり、情報が流出するのではないかと危惧する。

◎賛成討論

マイナンバー制度は、社会保障・税・防災と



◎あすばる甲賀に係る事業の見直しについて

来年度よりの人権施策について、変更点や実施主体の説明を受け、施策を後退させることなく、確実に推進するよう求めました。

◎第2次健康こうか21計画について

◎第2次甲賀市地域福祉計画の策定方針

◎第2次甲賀市環境基本計画策定方針

いう目的のために制度化された8事務に限定されたものと考えられる。採決の結果、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

《委員長の抱負》

林田 久充

議案等の論点を明確にし、市民サービスがより良くなるためのチェックや政策提案の議論に心がけます。

◎甲賀市不燃物処理場運営の変更

以上4件に関しても、市民の皆様にはわかりやすい計画、使いやすい運営となるよう、意見を出しました。

《委員長の抱負》

戎脇 浩

市民の皆様がより暮らしやすい甲賀市であるために、新たな視点で活発な議論をしていきます。



産業建設常任委員会

産業・建設・観光振興・上下水道の整備に関わる委員会です

付託議案

甲賀市下水道事業設置等に関する条例制定を審査

12月15日に委員会を開催、付託されました議案を慎重に審査しました。本条例は今まで特別会計で処理していた下水道事業を、来年度から公営企業会計に切替えるために必要となる条例を制定するものです。

主な質疑では、なぜ

今の時期に公営企業会計に移行する必要があるかに対し、経営基盤の強化のため資産状況や費用・負担の区分を把握し健全経営を図っていくとの答弁でした。採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決しました。



所管事務調査

◎関係各部の主要取組事業と進捗状況を確認

当委員会関係3部から平成27

年度中の主な事業の内容とその進捗状況を確認しました。「上下水道部」からは、水まわり快適生活応援事業や公共下水道整備事業等について、「建設部」からは、甲南駅周辺整備等の市街地整備事業や内貴橋改築事業、(仮称)甲賀北工業団地整備事業、名神名阪連絡道路整備効果検討事業等について、「産業経済部」からは、観光振興・誘

客促進事業、鳥獣害対策事業、プレミアム商品券事業、住宅リフォーム助成事業、少子化対策事業、琵琶湖森林づくり事業等の説明を受けました。各部いずれの事業も、計画通り進んでいます。

《委員長の抱負》

森田 久生
本市発展の推進エンジン部分を担当する当委員会は活発な議論の展開を促します。



文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です

所管事務調査

幼保・小中学校再編計画と学力向上について

12月15日はじめの委員会を開催しました。

◎幼保・小中学校再編計画について

主な内容は、平成27年度教育に関する事務の管理並びに執行状況の点検及び評価に関する報告書(平成26年度実施事業対象及び甲賀市幼保、小中学校再編計画にかかる学区地域説明会の開催状況等

「現状を知ってもらい、それぞれの方の意見をまとめていく過程を大切にしていき、保護者が意見を述べやすいように層を絞った説明会や協議の場が必要と考えます。」

いろいろな方々の要請を待っただけでなく、場の設定の働きかけをしていきます。また、再編協議は地域を代表した立場の方の構成と考えますので、地域の考え方を深く知っていた上で、地域の代表となつてもらえるように慎重に進めていきたいと考えています。」



◎平成27年度全国学力向上策について

「教育委員会としては、甲賀市の平均をあ

げるつもりです。家庭においては、生徒の生活習慣の現状を把握してもらいたいと考えています。また、全ての教師がどうか授業術5か条を進めて行きます。」

《委員長の抱負》

田中 実
幼保・小中学校再編計画などが発表されている時期に重責を担うこととなり、一層身を引き締めて頑張ります。



22人の議員が 市の考えを問う

順番	氏名	質問事項	順番	氏名	質問事項
1	田中 新人	1 甲賀市のTPP後の農業について 2 健幸ポイント制度について 3 (仮称)市民総合体育館建替について 4 甲賀市の新たな婚活について	13	加藤 和孝	に関する法律について 1 災害に強いまちづくりについて 2 投票環境の向上と投票の公正確保について 3 障害者差別解消法への本市の対応について 4 図書館の活用による読書環境の整備について
2	白坂萬里子	1 住み続けられる高齢者対策について 2 児童虐待防止について	14	林田 久充	1 都市計画マスタープランについて 2 健康づくりに関する市の取り組みについて
3	田中 実	1 地域情報化基盤整備事業の現状などについて 2 マイナンバーカードの取組で、市として現時点の問題点などは	15	安井 直明	1 平成28年度予算編成方針について 2 小中学校にエアコンを設置せよ 3 各町の住宅新築資金等貸付条例・規則の償還状況と取り組みを問う 4 公民館の今後の在り方と破損箇所等の維持補修を 5 水口町広野台の通学道路に隣接する松枯れ対策を
4	竹村 貞男	1 食品ロス問題と「フードバンク」について 2 外国人の子どもの教育環境向上にむけて 3 上水道用の鉛製給水管の撤去問題と上下水道の経営について	16	的場 計利	1 コミュニティバス運行事業の効果的、永続的な運営を行うために ①コミュニティバス運行路線・形態等の見直しについて ②コミュニティバス運行事業の収入増を図るために
5	片山 修	1 18歳選挙権に向けた主権者教育等について 2 少子高齢化に伴う「終活」などへの取り組みについて	17	田中 將之	1 引きこもりの社会復帰支援について 2 災害廃棄物処理計画の策定について 3 甲賀市の商工施策について 4 「忍者」施策について
6	鵜飼 勲	1 踏切道の現状把握と安全対策評価・課題について 2 公立甲賀病院の跡地活用について	18	小西喜代次	1 幼保・小中学校再編計画の地域説明会のうけとめと今後の対応について 2 小中一貫校の課題と問題点について 3 「甲賀市幼保・小中学校再編計画」と現改修計画について 4 信楽雲井地域でのコミュニティバスのきめこまやかな運行について
7	土山 定信	1 クリーンセンター滋賀の工事中における地元説明について 2 太陽光発電だけではなく、他の再生可能エネルギー発電のまちなみも目指して	19	谷永 兼二	1 一人でも多く、不登校児童生徒を減らすには 2 学力向上の取り組みについて 3 小中一貫教育について
8	山中 善治	1 甲賀市地域防災計画について 2 ゴルフ関連業による地方創生について	20	小河 文人	1 人口減少における本市の取組むべき対策は 2 安心安全のまちづくりについて
9	戎脇 浩	1 古城山の更なる整備を 2 甲賀流忍者を全市的な取り組みで	21	森田 久生	1 「青少年の健全育成に取り組む本市の考え方や諸施策」について 2 郷土芸能も含めた「伝統文化の保存と伝承、その振興」について
10	山岡 光広	1 75歳以上(後期高齢者)の健康診査について 2 「老朽消防ホース」の更新について 3 J R各駅「遅延モニター」の改善、甲南以東もICOCAが活用できるよう改札の改善、寺庄駅下りアナウンスの改善について 4 県用水単価の見直しによる甲賀市への影響と今後について 5 貴生川第三区の雨水対策と貴生川西内貴地区土地区画整理事業について	22	中西弥兵衛	1 甲賀市が誇る産業資源「信楽焼」の再興について 2 市内中小河川における避難判断基準の設定に向けての取りくみ状況を問う
11	橋本 律子	1 地方創生と教育の取り組みについて 2 庁舎(甲南)のひらかれた利活用と今後について			
12	竹若 茂國	1 J R草津線の甲南駅以東における各駅改札口のIC化について 2 公益社団法人 甲賀・湖南人権センターについて 3 人権・同和行政の推進に関する公開質問状について 4 障害を理由とする差別の解消の推進			

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



大豆コンバインでの刈取り

田中 新人

Q 甲賀市のTPP後の農業政策は

A 将来展望を持てる農業対策を具申



問 TPP後の農業政策について、感想を伺う。

市長 TPPが個々の農家に与える経済的な影響が予測され、決して楽観できる状況でない。将来展望を持てる農業ができるよう、県のTPP対策本部に必要な対策を具申してま

問 現在の担い手への土地の集積状況は。

産業経済部長 担い手への集積率は30・6%で耕作放棄地については、10・9 haが集積された。

問 青色申告されている農家の割合は。

産業経済部長 青色申告者は375人、その割合は20・24%である。

問 甲賀市の備蓄米は。

産業経済部長 平成26年産米が35トン、備蓄米になっている備蓄期間を経過した5年後に飼料用等として販売。

問 甲賀市総合体育館の建設と見通しは。

市長 既に甲賀市スポーツ振興基本計画に位置付けており、スポーツの振興、さらには住民避難場所、あるいは

多目的な見地より整備検討を進めるが、現段階ではその見通しの発表までに至らない。

問 甲賀市総合計画審議会の予定は。

教育部長 今月と来年3月までに2回開催予定で28年度は未定だ。

問 新たな婚活で甲賀市の結婚率と離婚率は。

市民環境部長 平成25年の婚姻件数は405組で人口1,000人当たりの婚姻率は4・4離婚件数は139組で離婚率は1・52である。

問 若者の人口増加を目的とした婚活支援は。

産業経済部長 甲賀の國づくりプロジェクト事業として取り組む。

白坂萬里子

Q 住み続けられる高齢者対策を

A 高齢者移動環境整備は喫緊の課題



問 高齢者が安心して、運転免許証の自主返納できる環境、自由に移動できる環境の整備計画を。

市長 地方創生の観点で踏まえつつ、高齢者の皆様には、より便利に移動できるバス路線網の見直しを計画しているところだ。

問 75歳以上のバス代の無料化ないしワンコイン化(100円)に。

市長 利用実績や事業の継続性、採算性を総合的に勘案して対応してまいりたい。

問 身近なテレビで買える物ができる本格的買い物支援サービスの導入を、「あいコムこうか」への働きかけを。

市長 信楽・土山地域で開始され、より積極的にPR活動や加入促進に向けて最大限の力を發揮してもらおうよう働きかけを行ってまいります。

問 里親制度や特別養子縁組制度の環境整備を。

健康福祉部長 児童虐待の相談件数は年々増える傾向で、189番が身近な番号となるよう周知に努める。現在、「仮称・子育て世代包括支援センター」の整備を進めており、総合窓口を設置するとともに、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援に取り組んでまいりたい。

問 子育て世代包括支援センター(甲賀市版)の具体的な実施を。

問 通報番号が189に変更になった啓発用のポスターの周知は。

問 未検診児の対応は。

問 こんにちは赤ちゃん事業の家庭訪問拒否は。

問 子育て世代包括支援センター(甲賀市版)の具体的な実施を。

平成27年7月1日(水)から
児童相談所全国共通ダイヤルが3桁の番号になります。

いち はや く
189

児童相談所
全国共通
ダイヤル

子どもたちや子育てに悩む保護者の
SOSの声をいちはやくキャッチ!

虐待かも
と思ったら
いちはやく
189番へ

189番にかけると
お近くの児童相談所につながります。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

田中 実

Q 情報化基盤整備の現状は

A 音声端末機は約8割設置



竹村 貞男

Q 食品ロス問題をどう考えるか

A 重要な問題として認識している



問 情報インフラ「情報の道」としての市の財産の利用は。

市長 地域情報化基盤整備事業は、市民の皆さんの安全で安心した暮らしを守り、光網の活用により情報交換や情報共有を促進することで、本市独自の地域コミュニティ社会を形成し、すべての市民が強くつながり合える土台を構築するために、整備を進めて行く。

問 安全安心情報の放送実績は。

総合政策部長 市内全体の1年間の実績は延べ1,200件、月平均で約100件と把握。

問 音声放送端末機以外の整備内容は。

総合政策部長 家の外

におられる方にお知らせするため、屋外拡声器が219基と、市内危険箇所等の監視カメラを16基設置。

問 「あいコムこうか情報サービス」の加入状況は。

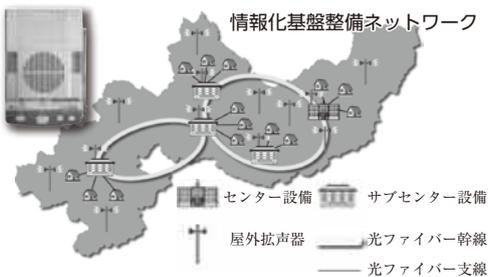
総合政策部長 平成27年11月末現在で、光テレビが6,449件、インターネットが6,133件、IP電話が6,866件です。

問 マイナンバーカードの取り組みで市の現時点での状況は。

総合政策部長 市内3万4,239世帯に送付、12月3日時点で、3万1,795世帯に届け、未届2,444世帯となっている。

問 市として現時点で考えられる問題点は。

総合政策部長 通知カードの発送日および配達完了日が、予定日よりかなり遅れていることに伴い、市民の皆様が個人番号カードの申請時期が遅くなることを懸念している。



通知カード (みほん)



甲賀市東部学校給食センター

問 給食の食べ残しはどれくらいあるか。

健康福祉部長 困窮者の食糧支援は、社会福祉協議会と連携して取り組んでいる。今後とも企業等への働きかけを行い、この事業の拡充を図っていく。

問 フードバンクの計画は。

教育部長 残飯と残った食材を合わせて、年間約60トン。

問 小中学校に配置されている通訳の状況は。

教育部長 常勤1名、非常勤6名が小中学校と教育委員会でポルトガル語やスペイン語の翻訳・通訳業務に当たっている。

問 外国籍の子どもが不登校になった場合の学校や教育委員会の対応は。

教育部長 不登校児は日本人の場合と違いはない。

問 甲賀市の鉛製給水管はどれくらいあるか。

上下水道部長 水口地域で昭和50年の前半まで使用されていた。現状の把握に努めている。

問 鉛製給水管や健康被害のことも含めて市民に周知徹底することが大事と考えるが。

上下水道部長 通常の使用では、被害が生じる恐れは非常に少ないものと考えている。しかし、鉛は無害ではないことから、長期間の旅行後や朝一番の水については飲料以外の使用をすすめるなどの広報を、今後も継続して実施していく。

問 水道使用料金の今後の見通しについて。

上下水道部長 様々な動向を注視しつつ、平成32年度まで現在の水道料金を維持したい。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

修

片山

Q 今後の主権者教育の取り組みは

A 実践的に学んでいける指導を展開



勲

鶴飼

Q 危険踏切道の改修は

A JRと十分に協議する



問 選挙権年齢等の18歳引き下げについての所見は。

市長 有権者は全国で約240万人の増加が見込まれており、また本市では約1,900人増加すると見込んでいます。日本の未来を担う存在である若者の声により政治に反映されるなど、関心を持つ意義深いものであると考えています。

問 いくことが必要であると考えている。行きやすい場所への投票所の設置は。

選管事務局長 選挙における公正さを確保するための情報セキュリティの適正管理が課題でもあることから、まずは現行の期日前投票所について、投票しやすい環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。

問 今後の主権者教育の取り組みは。

教育長 社会人としての素養の基礎を培うことを目指して取り組んでいる。特に義務教育期の子どもたちに、現実社会の中で起こるさまざまな事例・事案に目を向けさせ、解決に向けての「考える学び」をしつかりと積みあげ

日本の未来をつくる
あなたの一票



問 本市の課題や市政状況を知る方法は。

選管事務局長 広報紙やホームページを利用して啓発している。今後さらに、市内の高校などに情報提供や出前講座を通じて、選挙以外の財政状況などの学習機会を、授業に取り入れていただければ、協力を求めています。

問 少年高年齢に伴う「終活」などの取り組み

市民環境部長 通行規制の要望もあり、地域の要望に沿えるよう甲賀警察署を通して継続した要望活動を行う。

問 指定された通学路に位置する踏切道は。

教育部長 31箇所あり、1,555名が利用している。

問 第9次甲賀市交通安全計画の中で、鉄道交通の安全への取り組みと評価は。

副市長 鉄道事故防止や重大な事故のない甲賀市を目指している。計画期間内に鉄道事故は発生していない。

問 踏切道の現状は。

建設部長 市内には58箇所あり、JR30箇所、近江鉄道17箇所、信楽高原鉄道1箇所である。

問 踏切道の安全対策にかかるとの市の責務は。

市長 踏切道の改修は不可欠であると考えています。通学路の指定を受けた交通量の多い箇所はJRと十分に協議したい。

問 旧甲賀病院の跡地取得への取り組みは。

総合政策部長 11月末現在、約57%で計画通り。残工事は、汚染土壌の入れ替えと外構工事、敷地整地等である。

問 旧甲賀病院の跡地取得への取り組みは。

総合政策部長 病院事務局立会のもとに、両市副市長において、甲賀市への有償譲渡について協議している。



JR協議が必要な危険踏切

議員は選挙区内に病氣見舞金を出すことが禁止されています。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

土山 定信

Q 地元の説明内容は正しかったのか

A 特に変更は聞いていない



山中 善治

Q ゴルフ関連業による地方創生は

A 観光部門や他業種との連携を図る



問 クリーンセンター
 滋賀の着工時の地元説明について私は過大と
 思っているが、汚れた
 水が地下水に対しては
 理解できるが、川に流
 れないための設備とし
 て、四重の安全といっ
 ていたのは、訂正はな
 いのか。

市民環境部長 4重と

説明の訂正は無い。

問 一枚のシートを超

えて水がもれた場合、

ストリートに川に流れ

るのなら、公社は改め

て市民に説明する必要

があると考えるが。

市民環境部長 水がシ

ートを通過してもセン

サーが働き、ス

トレートに流れ

ることは無いと

判断している。

問 百年に一度

の大雨でも耐え

られる施設と聞

いたが、これは

過大ではなかつ

たのか。

市民環境部長

百年に一度の年

間雨量と聞いて

いる。

問 年間雨量と、



クリーンセンターの貯水ダム

一般に使っている雨量

とは全く別である。今

後確認したいので、水

を溜めている部分を常

に映すライブカメラ設

置をすべきである。

副市長 本施設は、雨

量にたいしても安全と

理解している。ライブ

カメラは、例がないが

公社に伝えておく。

問 常に働くと説明さ

れたセンサーについて、

現在支障なく活動して

いるのか。又連絡が無

いことは異常がないと

判断しているのか。

市民環境部長 異常が

あれば市に連絡がくる。

市としては、問題無い

と判断している。

問 ゴルフ関連業の市

内の現況について。

産業経済部長 市内の

数は21ゴルフ場、24

コースで、従業員数は

約1,200人。昨年度

のゴルフ場利用者数は、

98万3,400人、ゴル

フ場利用税交付金は3

億6,700万円。チャ

リティゴルフの開催な

どにより本市のまちづ

くりにも貢献をいただ

いている。災害時の支

援についても、ご協力

の意向を確認している。

問 地方創生のポイン

トの一つは、地域資源

の有効活用である。甲

賀市創生の施策は。

産業経済部長 市内物

産の販売や観光パンフ

レットの設置、観光案

内などの提供をいただ

いている。観光部門を

はじめ、他業種との交

流も深め、連携や協力

を図る。

問 教育的観点からの

取り組みについて。

教育長 多くのゴルフ

場が立地している誠に

恵まれた環境にあり、

ゴルフ関連事業の発展

は青少年を含め、市民

スポーツの振興におい

ても大きく寄与すると

考える。小中学生への

競技スポーツとして、

生徒のニーズ、指導者

の問題、活動の場所や

方法等を研究しながら、

導入の可能性を見極め

ていく。

問 甲賀市地域防災計

画(改定版)における、

自主防災組織の組織化

と自主的活動の促進に

ついては。

危機・安全統括監

梨田昌孝氏を囲む 第14回チャリティゴルフコンペ



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

浩 戒脇

Q 甲賀流忍者を全市的な取り組みに

A 他の観光資源と融合させ取り組み



光広 山岡

Q 75歳以上の健康診査を元に戻せ

A 広域連合を尊重、他と協調・対応



問 日本忍者協議会も発足し、いよいよ「忍者」は世界的観光資源になった。観光振興計画にある忍者エリアにこだわらず、全市的な取り組みにすべきである。そんな中、拠点整備をどう考えるか。



盛り上がる忍者マーケット

産業経済部長 拠点整備は観光産業の振興面からも必要。公共施設や既存の民間施設への支援を含めて整備を進める。

問 史実の解明も必要。その上で日本遺産への取り組みはどうか。

教育部長 フィクションだけでなく、実像に即して甲賀武士と関連させて発信し、日本遺産申請手続きも進めている。

問 信楽高原鐵道に忍者列車を走らせてはどうか。

副市長 提案頂いたアイデアをぜひ実現させ、地域を盛り上げたい。

問 「忍者のまち・甲賀市」という全市的な取り組みにしてはどうか。

市長 忍者を全面的に押し出し、他市にない取り組みを進める。また旧東海道や岡山城への誘客も忍者の魅力を活かし、バージョンアップさせる。

問 水口宿は水口岡山城の城下町として、都市計画という形で整備されたのではないかと。水口小学校の校門を大手門の様相にするなど、麓の整備を進めるべきではないか。

教育部長 山上の城跡、麓の館跡、城下町跡を一体のものとして保護・活用することが重要である。提案の校門も調査研究し、整備手法を検討する。



出土した揚羽蝶文鬼瓦

問 75歳以上高齢者の健康診査対象が今年から大幅に制限された。なぜ、実態は。

市民環境部長 甲賀市の場合、昨年8、164人であったが、今年は2、142人に。広域連合が生活習慣病等で医療機関にかかっている人を除いた。

問 全県的にみれば、健診対象者はたったの13%。早期発見・早期治療の健診の目的にも反する。元に戻すべき。

市長 広域連合の方針を尊重し、県内市町と協調して対応する。

問 老朽消防ホース。市内の実態調査は。

危機・安全統括監 議員の指摘を受け調査したところ、6、662本のホースの28%が30年

以上前だった。
市長 適正な維持管理が図られるよう区自治会等をお願いした。

問 JR各駅の「遅延モニター」の表示改善、甲南駅以東にICOC A改札の設置を、寺庄駅のアナウンス改善を、JRに働きかけていた

だきたい。
総合政策部長 ICOC A改札機の導入は利用者増に直結するのでJRに継続して要望。

問 県用水供給単価が変更になるが影響は。また激変緩和のための一般会計からの繰入は

新年度からどうなる。
上下水道部長 基本料金・使用料金とも料金体系が変更になり甲賀市にとっては約1億4千万円の削減になる。



降雨時にはいつも冠水するJR高架下(貴生川第三団地)

激変緩和策とほぼ同額となるため、水道料金には影響がない。
問 45年前に造成分譲された貴生川第三団地で懸案になっている雨水対策は。
建設部長 JR高架下の冠水個所の排水路調査を今年度中に行い、工事にかかる。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

橋本 律子

Q 甲南庁舎の拓かれた利活用と今後

A 福祉機能も果たせる利活用を検討



問 本庁舎建設が本格的工事に入り、29年5月には総合庁舎機能がスタートと聞かすが、甲南第一市民センターとして、又地域包括支援センター等公的機関等が集約化されるとのこと。耐震補強の後、市民活動の本拠点となるよう期待するが現時点での検討状況は、また市民の思いはどう把握しているか。

健康福祉部長 現在整備のあり方検討委員会で素案の取りまとめを行っている。今年度内を目途に、「公共的団体の事務所スペース」や、「市民活動や交流を支援する開放スペース」の素案が示せる段階で、地域区長会、自治振興会をとおり、市民の想

いをお伺いしていきたい。

問 市の総合福祉センター機能を当庁舎へと考えるがどうか。

健康福祉部長 総合福祉センターの具体的構想はないが、一定の福祉機能も果たせるよう利活用を検討していく。
問 本年全国学力学習状況調査の結果が平均値より悪い状況と大きく、調査分析が必要と考える。今後の取り組みは。

いをお伺いしていきたい。



地方創生事業“大学生による放課後塾”

教育長 分析した課題は、「漢字、計算等の基礎的学習事項の確かな定着」考えをまとめ文章で書きあげる力、又家庭の学習のあり方に課題が見られた。今後甲賀の授業スタイルの実践や少人数指導の充実など信頼される学校づくりを目指す。

問 学校地域支援体制の強化が必要となるが、**教育部長** 支援形態の組織化・連携を図る。

竹若 茂國

Q 草津線改札口のIC化は

A 甲南駅整備に合わせて要望を続ける



問 県下JR各駅のIC化の状況は。

総合政策部長 東海道線3駅と草津線4駅を除く全てでできている。
問 取り残されている思いがするが。
総合政策部長 IC化の整備は是非必要である。

がすすむよう協力する。
問 事務局を市役所外に置くとなっているが。

副市長 市民や子どもが行きやすい所にする。
問 人権センター存続署名の提出があったが。
市長 人権に関心を

づくりをすすめる。
《人権・同和問題》

問 解放同盟から市長宛に質問状が出ている。回答は本部長名(副市長)この意図は。
副市長 担当本部長として回答した。ごく自然なことである。
問 不誠実な回答では。
副市長 3項目について回答した。これ以上するつもりはない。

《人権センター》
問 人権教育室とは。

市民環境部長 現人権教育推進係と市民共生ネットワーク協議会の事務を行う。
問 ネットワーク協と人権教育室の関係は。
市民環境部長 市民と行政の協働の取り組み



もってもらいたい。人権が尊重されるまち

問 今も部落差別に苦しんでいる人がいるが。
副市長 人の世には、さまざまな差別がある。
問 このままの状態ではないのか。
市長 同和問題に限らず、あらゆる人権課題に取り組むことが、公平な対応と承知している。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

加藤 和孝

Q 障害者差別解消法への市の対応は

A 職員向けの対応要領を作成する



林田 久充

Q 都市計画マスタープランの推進は

A 甲賀流創生総合戦略でも検討



問 中学校に部活動として「防災部」を設けているところもある。地域防災力の強化に加え、ボランティア精神を学ぶという観点からも、甲賀市でも仮称「防災部」を設ける意義はあると考えるが。



教育部長 人の役にたつ態度を養うことは大切であり、自分の生き方を考える上でも、まずは地域で何ができるのかを考えさせるとともに、ボランティアを中心とした防災活動を市内小中学校に広めてまいりたい。

問 利便性と投票者数の増加を図るべく、大型商業施設などに期日前投票所を設けてはどうか。公職選挙法の改正で、病院などの指定外部立会人を立ち会わせるなどの努力義務が設けられた。いかに対応されているか。



選管事務局長 大型商業施設などにも期日前投票所を設けても全体の投票率の向上につながるか疑問もある。彦根市などの先例を十分に研究していく。指定施設での立ち会い

については、県選管と連携しながら指導啓発に努める。

問 障害者差別解消法が平成28年4月1日から施行される。甲賀市ではいかなる取り組みが検討されているか。障害者差別解消法で定められた理念を実効あるものとすべく、条例の制定も必要と考えるがいかがか。

健康福祉部長 市職員に対し法の理解・周知のための研修会の実施を検討している。職員向けの対応要領については、国・県の要領を踏まえ作成する。まずは法律の円滑な施行を図るべく、その施策を優先して進めながら、条例の必要性も検討していきたい。

問 都市計画マスタープランの「実現化の方策」の進捗はどうか。

建設部長 水口地域中心部への多様な都市機能を集約するため、行政関連施設用地への公共施設の誘導や市街化の拡大を行ってきた。

問 集約型都市構造の都市づくりとは、今後どのようなものが考えられるか。

建設部長 都市拠点には、国県等行政関連施設等の公共施設の集積や商業施設の立地。副都心拠点では、商業施設の集積を図る他、観光、伝統産業等の保全と活性化を推進する。

まち・ひと・しごと創生総合戦略」の検討過程においても、土地利用規制や都市計画の見直し等を念頭におき、検討している。

問 市街化調整区域において開発等が可能になる地区計画制度の取り組み状況と課題は何か。

建設部長 現在、甲南地域と甲賀地域に説明を行っている。今後、水口地域も含め、地元との調整も図りながら地区計画策定に向けた取り組みを推進する。課題としては、地元自治会や土地所有者の理解が必要なことである。



貴生川西内貴土地区画整理支援事業

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

安井 直明

Q 老朽化公民館の維持補修を

A 順位を付け維持管理をする



計利 的場

Q 甲南から貴生川バス乗り入れは

A 路線改正に向け事業者と協議



問 安倍政権は、大企業に減税、国民には消費税増税の押し付け、景気は回復というが市長も実感がないと言う、甲賀市平成28年度予算編成方針を問う。

市長 予算編成の過程にある、庁舎整備など本年度より膨らむ。

市長 貸付金は尊い税金、条例等の基づき対応する。



故障のエアコン、テレビ

会議に諮問中。

教育部長 緊急性や優先順位をつけ維持管理に努める。

問 水口町広野台の通学道路でもある、危険な民地の松枯れ対策を。

建設部長 関係機関と連絡密に対応。

教育部長 30度を超えたのは柏木、甲南第1、綾野小学校、甲南中学校。新年度で設置を。

問 前回調査結果で「35度を超えた学校もあった」と答弁、どこか小中学校にエアコンを新年度で設置を。

教育部長 温度測定中で、結果も見極めながら適切な時期に判断する。

問 旧地域改善法による地域、対象者への土地や家の購入・補修に

問 公民館は全体で13館。建設年度は、平均して70年代。各町のばらつきがある、今後の在り方は。大野のエアコン、テレビは故障、建物等は老朽化が目立ち、破損箇所も多い。すぐに対応を。

教育長 社会教育委員



危険な松枯れ

利用者の減少による路線バスが撤退を余儀なくされたのを受け、コミュニティバスが運行されてきた。合併後市民ニーズを見極め路線網の改編も進められてきた。以前提案し「乗り継ぎ制度」を採用して頂き喜んでる。

そこで、以下尋ねる。

問 甲南環状線を宝木から貴生川駅へ乗り入れることはできないか。

総合政策部長 次年度の路線改正に向けて、バス運行事業者と協議を進めている。

問 バス運行路線について、一市一制度の考え方のもと、町界を越えた路線網の拡充はどうか。

総合政策部長 現在5路線を運行しており、

広域的移動のための中核路線として位置づける。ただ鉄道路線を1次交通として優先している。

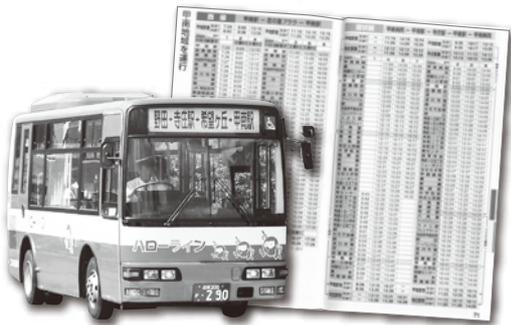
問 1便当たり1人にも満たない路線が散見される。利用状況を見てスクラップ&ビルドの考えはあるか。

総合政策部長 路線上の沿線人口が少ないこと。自家用車利用の恒常化でバス利用の関心度が低いのも一因。

問 過疎地域では、地域が送り迎えをする制度をつくり低コスト、利便性の高い制度で運用している例がある。

総合政策部長 地域の自主運行については地域との連携にも焦点をあて甲賀市モデルを検討。

スクラップ&ビルドについて、高齢者や児童生徒など交通弱者の重要な移動手段であり、利用者視点、経営的視点、市民視点から有



地域交通の核となるコミュニティバス

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

田中 將之

Q 「忍者」施策を問う

A 市内経済のけん引役としたい



小西喜代次

Q 学校再編は情報公開と合意で

A 議事録は一定の時期に公開も



問 市の総合計画、また、甲賀市版総合戦略、甲賀の國づくりプロジェクトにおける「忍者」の位置づけは。また、昨年度の地方創生先行型補正予算として「忍者」を活かした観光戦略予算に対しての具体的な事業の効果、成果、評価はどうか。

問 インバウンド・マーケティングとしてのコンテンツとして、「知る」「みる」「体験する」を切り口にしてはどうか。

問 地域説明会での声をどう活かしていくのか。性急に進めるのではなく十分な住民討議が必要と考えるか。

問 計画が協議事項とされた教育委員会定例会の議事録は非公開とされている。なぜ公開しないのか。また、小中一貫校の教育委員会での主な論点は何か。

問 計画が協議事項とされた教育委員会定例会の議事録は非公開とされている。なぜ公開しないのか。また、小中一貫校の教育委員会での主な論点は何か。

問 小中一貫校は「再編の有無にかかわらず」導入とあるが、市民参加のもとで教育的検証が必要ではないか。

産業経済部長 地方版総合戦略は、いかに甲賀らしさを出すかというところがポイント。忍者を市内経済のけん引役と位置付けている。補正予算を活用した事業として、子どもたちにも人気が高いスーパースター戦隊シリーズのロケ誘致、忍者をモチーフにした料理を集めた甲賀流忍者マーケット、忍者のイラストを描いた

観光看板の設置やコミュニティバスへのラッピングなどに取り組んだ。

紹介して体験できる地域ルートをつくり、市内全体で忍者を体験できるようにしてはどうか。また、その認定屋敷で忍者食や民泊に活用するなどを、伊賀も含めた滞在型観光ルートができるのではないか。

教育長 保護者の考えを聞かせていただくとともに、説明会での意見を踏まえ精査・検討を進め、再編検討協議会に臨む。

教育委員長 慎重審議に期する必要がある。委員の自由な発言のため非公開とした。一定の時期に公開も考える。2回の定例会では、小中一貫教育に関する議論は特になかったが、5回の教育委員協議会で、教育的効果についても議論をした。

教育長 今の段階では考えていない。

まず、「知る」体験する「する」という切り口で、甲賀流「Ninjaアカデミー・忍びの学校」の開設はどうか。

まず、「知る」体験する「する」という切り口で、甲賀流「Ninjaアカデミー・忍びの学校」の開設はどうか。

文化を知り、体感することは効果的であると考えてるので、今後参考にしたい。

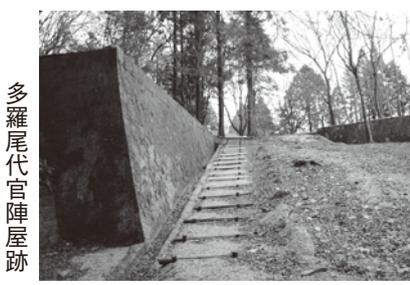
問 事前のアンケートの「適正な規模に達しない」との設問は恣意的である。説明会でも意見を反対に捉え回答との意見。アンケートは計画の論拠のひとつでもある。アンケートの扱いはどうするのか。再度アンケートをとる考えはないのか。

問 小中一貫校導入の根拠は何か。住民には効果だけでなく課題や問題点も示す必要があるのではないか。

問 小中一貫校導入の根拠は何か。住民には効果だけでなく課題や問題点も示す必要があるのではないか。

また、市内広域にわたる甲賀五十三家、二十一家を復興し、屋敷認定して、忍び、自然、文化、伝統技術などを

また、市内広域にわたる甲賀五十三家、二十一家を復興し、屋敷認定して、忍び、自然、文化、伝統技術などを



また、市内広域にわたる甲賀五十三家、二十一家を復興し、屋敷認定して、忍び、自然、文化、伝統技術などを

また、市内広域にわたる甲賀五十三家、二十一家を復興し、屋敷認定して、忍び、自然、文化、伝統技術などを



創立110周年の雲井小も統廃合対象

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

谷永 兼二

Q 一人でも多く不登校を減らすには

A 初期対応の流れをシステム化する



小河 文人

Q 人口減少を克服する政策は

A この地域で結婚し暮らすこと



問 市内公立小中学校

での不登校の推移を見ると、平成24年度98人、平成25年度99人、平成26年度101人となっており、全児童生徒における不登校の割合は1.25%である。昨年4月から福祉部局の発達支援室と教育委員会学校教育課の教育相談機能を一元化し、新しく発達支援課が開設された。不登校にかかわる相談や活動について現状と課題は。

健康福祉部長

行きし

ぶりや不登校の児童生徒について、心理士等による教育相談を実施。学校や家庭での対応だけでは学校復帰が難しい場合、適応指導教室で学校に戻っていただけるよう支援をしている。



不登校が深刻化してからは解決が難しくなるので、できるだけ早期に関係機関が連携し防ぐことが重要。不登校、不登校に関する対応システムを検討する。

問 不登校の子どもにもは長期欠席になる前に、初期対応が重要だ。

教育長 校内ケース会議でケースの分析と支援計画を策定し、保護者や関係機関と連携しながら支援を進める。



問 今後の対策は

教育長 休み始めた児童生徒を早期に把握し、関係機関とも連携して、学校の適切な支援につなげる仕組みを28年度から運用する予定で、一人でも多く、不登校を減らしていきたい。

問 土曜授業を行うことにより、時間の確保ができ、学力向上につながるかと考えるが。

教育長 あり方や課題解決等を含めて研究を続けていきたい。

な

問 本市の人口問題への認識と解決に向けた方向性は。

市長 住みたいまちに選ばれる甲賀市をつくるために「甲賀市版総合戦略」を策定し、人口減少社会に立ち向かうための事業を積極的に進めていく。

問 「婚活」は、若者層の人口ビジョンを実現するために特に有効な施策と考えているが、市の認識は。

総合政策部長 「婚活」は、若者層の人口減少を抑制する有効な施策であり、「総合戦略」においても、大変重要な取り組みであると認識している。

問 本市の結婚相談会の状況と効果、課題は。

産業経済部長 本市では12名の結婚相談員を委嘱、毎月2回水口庁舎において結婚相談所を開設相談を受けている。また、毎月相談員による会議を開催し情報の交換や収集に努めていただいている。相談件数は、平成26年度には321件あり、5組のカップルが結婚された。課題は、登録者数における女性比率が低い。

問 婚活や結婚相談の担当部署は総合政策部で担うこととしてはどうか。

うか。

市長 結婚相談事業については、当初は農業後継者対策としてスタートしてきたが、現在就農者以外にも展開をしている。特に昨今の人口減少問題を踏まえ全庁的な対策が必要と認識をしている。今後、甲賀の國づくりプロジェクトの施策を踏まえ、各々が課題共有の上連携し取り組んでいきしかるべきふさわしい組織でと考えている。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

久生 森田

Q 滋賀が誇る「江州音頭」の振興を

A 郷土芸能に親しむ機会を提供



中西 弥兵衛

Q TPPに伴う輸出活性化策を問う

A (仮)新輸出大国共同体に注視



問 青少年健全育成の重要性と課題認識は。

市長 次代を担う青少年の心身共に健やかな成長は全市民の願いである。青少年が地域を愛する気持ちを涵養する施策が重要と認識。

教育長 近年、青少年を取巻く環境変化が著しい。しっかりと子どもたちを見守り育てる環境づくりを目指す。重要性は十分に認識。

問 平成27年度の青少年の健全育成に関する予算と執行状況は。

教育部長 自然体験推進費や甲南青少年センター運営費等を含め、109万円である。いずれも計画通り執行。

問 甲賀市青少年育成市民会議への活動助成金についての認識は。

市長 青少年育成市民会議の皆様の献身的な活動に感謝している。支部への助成金は決して多くないと認識。補助金だけでなく事務局の支援も図っていく。

問 郷土芸能も含む伝統文化の保存と伝承、振興に対する認識は。

市長 甲賀市は伝統文化の宝庫である。それを後世に引き継いでいくことは大変重要であると認識。伝統行事が持つ活力はまちづくり

の原動力と確信する。
問 滋賀が誇る伝統芸能「江州音頭」の振興に対する考え方は。

教育部長 市内の6小学校が運動会等で江州音頭を取入れている。

教育長 江州音頭は市民が共有できる芸能文化である。学校のみならず広く市民の皆様が江州音頭をはじめとする優れた郷土芸能に親しめる機会を積極的に提供できるように努める。



甲賀市指定無形民俗文化財「すいりょう節」保存の為に制作されたDVD

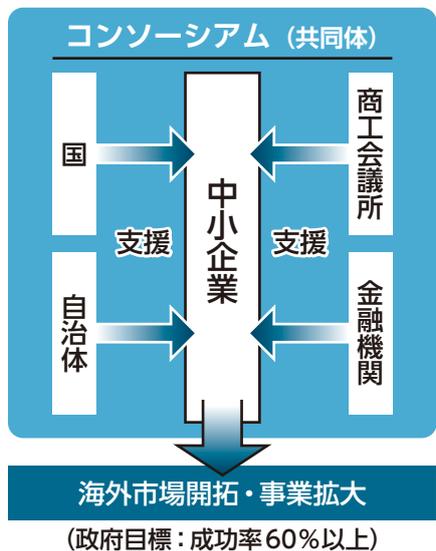
問 現在策定中の「甲賀の國づくりプロジェクト」における甲賀市の産業資源「信楽焼」の位置づけについてはどのように考えておられるのか。

産業経済部長 今年度の「甲賀の國づくりプロジェクト」では、地方創生先行型として、創業支援と販路開拓を事業の一つに掲げ、信楽焼の海外及び国内の販路開拓に取りくんでおり、地場産業の振興を図ることにより、甲賀市のまちづくりにつながって参りたいと考えている。

問 TPP交渉での陶磁器の関税撤廃をふまえての輸出活性化策について問う。

産業経済部長 TPP

中小企業の海外展開支援のイメージ



の大筋合意をうけ、今後関税が撤廃されることと国内の陶磁器業界では輸出拡大のチャンスと捉えられている。本市としても、本年度海外への販路開拓の取りくみを行ったところであり、引き続き信楽焼振興協議会をはじめ関係団体となお一層の連携を図ってまいりたいと考えている。特に「仮新輸出大国コンソーシアム」の動きに注視しながら、地場産業・信楽焼の振興につながるよう進めていく。

議 会 を め ざ し て

3 回 日 の 議 会 報 告 会 を 開 催

議会基本条例に基づく第3回議会報告会を11月12日・13日・14日に市内中学校区6会場で開催しました。

市民の皆さまには日頃の議会の活動状況を知っていただくとともに、ご意見やご提言を直接お伺いし、議会審議への活用や議会運営の改善を図り、市民に開かれた議会を目指すために実施するもので、120人の参加をいただきました。

その後の質疑や意見交換として、議会運営や市政全般など様々な意見や提言をいただきました。

主 な 質 疑 な ど

問 選挙費用の公費負担について機会均等などの観点からも多に賛成。

答 人口減少に向かう中、議員定数について削減の必要を考えるが、

報 告 内 容

9月議会で審議した平成26年度決算審査報告をはじめ、新規条例（包括外部監査・個人番号カード利用・屋外広告物・市議会議員及び長の選挙運動公費負担）の内容説明を行いました。

その後の質疑や意見交換として、議会運営や市政全般など様々な意見や提言をいただきました。

答 現在、教育委員会が提案しているのは、一つの目安であり、決定事項ではない。今後は時間をかけて、保護者のご意見、議員としての考え方、地域の意思などをすり合わせながら一緒に良い方向にまとめあげていければと考えている。

問 名神名阪連絡道路について、本地区にとつても、また全国的に見ても本道路は必要と考えている。決算報告の金額の内容も含めて、県に対して働き方を問う。

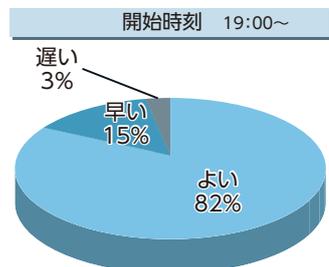
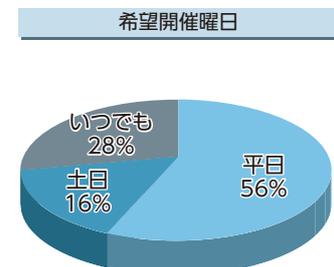
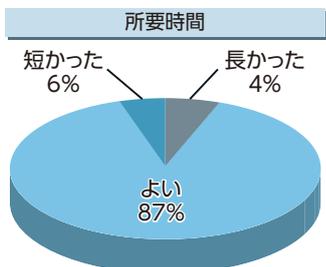
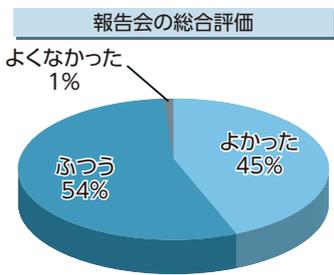
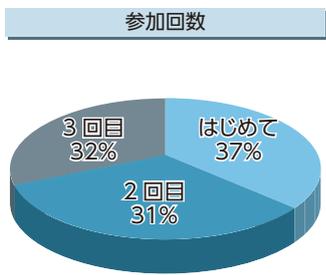
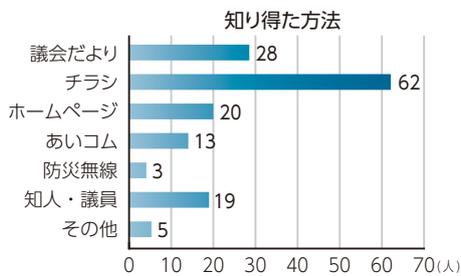
答 26年度決算として94万8,000円の報告をしたのは、市民及び企業にアンケートを取った費用。25年に議員連盟を組織し、民間の方々共々近畿整備

ア ン ケ ー ト 結 果

局はじめ県知事要望を進めている。27年度は整備効果検討業務委託として311万、400円です。内容は社会経済などの把握整理、道路交通状況の把握、道路交通の課題の整理、整備効果の検討など。

参加者の皆さんのアンケート結果では、議会報告会の総合評価について「よかった」が45%と前回より若干減少しましたが、「よくなかった」は1%と高評価をい

ただきました。参加回数では「はじめて」の方が37%もおられました。しかし総数では前回よりも少なく、皆さまからご提言いただきました、曜日や時間、PR方法など、今後より一層ご参加いただける工夫をしていきます。



市民に開かれた

アンケートの 主な記述内容

- 的をしぼった説明で、回を追うごとにわかりやすくなりました。質問時間が長くなった。回を重ねることに關心のある方が(新しい顔の参加者)が増えてきていると思います。
- 農地法改変と農協株式会社化とTPPのもたらす農地への影響を分析してほしい。
- 地域市民の考え(生の声)が大いに聴けて有意義であった。今回3回目であるが、今後も意欲的な開催を希望します。
- 新規条例についてわかりやすく説明され、よい機会があることは意義深い。
- 結果報告が主ばかりでなく、議会の考え方の地域への問いかけや市民に対して発信を。参加者が少なかった

ことは残念、もう少し幅広い市民の参加があれば多様な意見が聴けるし、議論が深まる部分もあると思う。十分理解できる報告でした。ただ、意見交換会とするなら、テーマを設定して行う方がより良い会になるのでは。

これらのご意見も参考にし、さらに内容の充実に努めてまいります。

第3回 議会報告会参加人数 (人)

日時	会場	参加人数
11月12日(木)	かふか生涯学習館	27
	甲南庁舎	28
11月13日(金)	水口中央公民館	17
	土山開発センター	12
11月14日(土)	あいこうか市民ホール	9
	信楽開発センター	27
計		120



甲南庁舎



かふか生涯学習館



土山開発センター



水口中央公民館



信楽開発センター



あいこうか市民ホール

ご参加いただきありがとうございます。ございました。次回は5月開催予定です。



報告風景



議長あいさつ

特別委員会の動き・議会活動報告

庁舎整備

着々と進む 新庁舎建設

昨年7月から

始まった甲賀市新庁舎建設工事は、いよいよ基礎工事へと進んできました。現在不正建築工事のニュースが多く報道されており、当委員会としまして市民の皆様代表として厳しくチェックしなければと考えています。

11月11日委員会を開催、新庁舎建設工事の進捗状況の報告を受け現場視察も同時に行いました。

まず、現在の工事の進捗状況や今後の工程の説明を受け、質疑に入りました。主な質疑は次の通りです。

問 杭打ちの不正ニュースが出ています。

答 地盤は調査の結果、非常に硬い地盤で杭打ちをする必要はありません。



問 市と現場担当者との関わりは。

答 現在2週間に1回定例会議を行っているが、今後週1回の調整会議を行う予定である。その後、現在行われている地中熱交換機設置工事について現地説明を受けました。

甲賀大原地域市民センターについて

基本設計(案)が示され、平成28年7月着工、29年9月竣工との説明を受けました。地域に開かれた市民センターとして、委員会で審査していきます。

議会改革

議会改革の推進を検証

平成26年3月定例会において、より市民に開かれた議会を目指し、議会基本条例の検証と調査・研究を行うことを目的に設置しました。

この間9回の委員会を開催し、さらには高山市議会と可児市議会を訪れ、議会改革全般についても学びました。

議会基本条例の条文ごとに検証と調査研究する内容を見極めるとともに、条例にある市民との意見交換の場を多様に設け、議会及び議員の政策立案能力を強化し、政策提案の拡大を図ることなどをすすめてきました。

議会報告会開催に向けての検討を進め、26年11月に1回目の議会報告会と意見交換会を開催しました。

次に、調査研究を行



った主な内容は以下の4つです。

- ① 市民との意見交換
 - ② 議員間討議・自由討議
 - ③ 通年議会
 - ④ 議員政治倫理条例
- 以上の件については一定の方向性が出ましたので、今後の議会運営に反映させていきます。

議会活動報告 (10月～12月)

10月 2日	広報特別委員会	編集会議
10月 5日	視察受入【岡山県津山市議会】	
10月 8日	広報特別委員会	編集会議
10月13日	産業建設常任委員会	
10月14日	総務常任委員会	
10月16日	広報特別委員会	編集会議
10月19日	議会改革推進特別委員会	
10月21日	視察受入【香川県三豊市議会】	
10月26日	視察受入【岐阜県羽島市議会】	
11月 4日	議会運営委員会	
	文教常任委員会	
11月10日	本会議	臨時会
11月11日	庁舎整備特別委員会	
11月12日	視察受入【東京都立川市議会】	
	議会報告会	かふか生涯学習館・甲南庁舎
11月13日	議会報告会	水口中央公民館・土山開発センター
11月14日	議会報告会	あいこうか市民ホール・信楽開発センター
11月17日	議会改革推進特別委員会	
11月19日	視察受入【鹿児島県枕崎市議会】	

11月24日	議会運営委員会	
11月30日	本会議	議案上程
	議会運営委員会	
12月 7日	本会議	議案審議・採決・付託
12月 9日	本会議	一般質問
	広報特別委員会	編集会議
12月10日	本会議	一般質問
	議会改革推進特別委員会	
12月11日	本会議	一般質問
	議会運営委員会	
12月14日	本会議	一般質問
12月15日	総務常任委員会	
	民生常任委員会	
	文教常任委員会	
	産業建設常任委員会	
12月16日	議会運営委員会	
12月18日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決
12月25日	広報特別委員会	編集会議

組合議会の動き

甲賀広域 行政組合議会

第4回臨時会・議会人事の選任

11月24日、第4回臨時会が開会され、次の通り正副議長の選挙並びに監査委員の選任を同意しました。



議長 白坂萬里子（甲賀）
副議長 松原 栄樹（湖南）

監査委員

山中 善治（甲賀）
山岡 光広（甲賀）
土山 定信（甲賀）
橋本 律子（甲賀）
菅沼 利紀（湖南）
赤祖父裕美（湖南）
加藤貞一郎（湖南）
鵜飼八千子（湖南）

公立甲賀病院 組合議会

議長・副議長選挙 監査委員の選任を審議

11月24日、第2回臨時会が開会され、議会人事は次のとおり決定しました。

議長 矢野 進次（湖南）
副議長 鵜飼 勲（甲賀）
監査委員 松山 克子（湖南）

●12月22日、消防庁舎の中で最も新しい甲南消防署及び衛生センターのごみ処理施設・視察。



第3回臨時会

契約の変更など3議案を審議

平成27年第3回臨時会（12月22日）が開会されました。

●旧甲賀病院解体工事を

11月24日、に係る追加工事に伴う契約の変更

●旧甲賀病院跡地を甲賀市に有償譲渡するための財産処分

●財産処分に伴う事業会計補正予算が提案され、全て全会一致で可決しました。このことにより公立甲賀病院組合より、約1万8千422平方メートルの土地を3億6、400万円で購入する予定で譲渡される予定です。

議員
小川 文人（甲賀）
竹村 貞男（甲賀）
森嶋 克己（甲賀）
中西弥兵衛（甲賀）
望月 卓（湖南）
栗津 寛三（湖南）
松井 圭子（湖南）



旧甲賀病院解体現場視察

議員定数削減

3人減・24人に議決

甲賀市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について

本議案は、現行定数27人を次の一般選挙から甲賀市議会議員の定数を3人減じて24人とするものであり、議会運営委員会に付託されたものであります。採決の結果、賛成多数で可決しました。

●主要質疑答弁は次のとおりです。

問 会派間の議論、また、議会として全議員が議論する場を設けて当然だと思いが。

答 この件は、議員提案であり議案は議長が受理し、本会議で諮るもの、会期中に審議し意見を聞いて決めるのが良い。

問 前回市民の声を聞く会も設けたが、議会報告会でも意



見やアンケート結果が出ている。

問 経費削減も大切だが、議員の役割として行政をチエック、無駄を省くことが大切。

答 切磋琢磨し、少数精鋭でやったほうが良い。

問 広い面積を抱えている本市での定数削減は、議会基本条例にも反し、市民の声が届かないのではないか。

答 面積に関係なく定数を減らし、議員の頑張りによりやっていくべきだ。全国的に合併した市の人口では、平均して24・6人となっており妥当である。

こうか再発見

vol.17

土山町

垂水斎王頓宮跡(国指定)

(たるみさいおうとんぐうあと)



市内の文化財①

今号から市内の文化財をテーマに250あまりある文化財の中から紹介していきます。



垂水の頓宮建立跡地は、平安時代の初期から鎌倉時代の中ごろまで、約380年間、31人の斎王が伊勢参行の途上に宿泊された頓宮が建立されたところです。

斎王とは、天皇が即位される度毎に、天皇のご名代として、皇祖である天照大神の御神霊の御杖代(みつえしろ)をつとめられる皇女・女王の方で、平安時代に新しく伊勢参道がつくられると、この道を斎王群行のかたちでご通行されることとなりました。

京都から伊勢の斎宮まで、当時は5泊6日もかかり、その間、近江の国では勢多・甲賀・垂水の3か所、伊勢の国では鈴鹿・壱志の2か所で、それぞれ1泊されて斎宮まで行かれました。

その宿泊された仮の宮を頓宮と言い、現在、明確に検証されている頓宮跡地は、5か所のうち、ただこの垂水頓宮だけです。



お詫びと訂正
前号44号、竹村貞男議員の一般質問中の写真説明文を「学校図書」の充実が望まれる市内の学校を「甲南中学校」と訂正しお詫びいたします。

編集後記

▶昨年11月の臨時議会で広報特別委員会も新体制に。2年間、編集・発行作業の労苦をともししてきた委員長はじめ各委員に敬意を表したい▶甲賀の国づくりプロジェクトが策定され、将来の急激な人口減少問題に立ち向かう▶甲賀らしい市民幸福度の高い「まち」を追求し、ふるさと愛を熟成し、「人」を育て、域内経済の好循環で「しごと」を生み出す▶開かれた議会をめざす大きな役目を担う本紙が、これからも市民の皆さんに読んでもらいやすく、また、親しみやすくなるよう、さらなる努力を。▶4日は立春。待ち遠しい春はそこまで来ている。(広報特別委員長 田中将之)

3月議会の予定

- 2月17日 本会議(第1日)予算上程、提案理由説明
- 18日 本会議(第2日)予算以外の議案上程、提案理由説明
- 26日 本会議(第3日)代表質問
- 3月 1日 本会議(第4日)議案審議
- 3日 本会議(第5日)一般質問
- 4日 本会議(第6日)一般質問
- 7日 本会議(第7日)一般質問
- 8日 委員会
- 9日 委員会
- 10日 委員会
- 14日 委員会
- 16日 委員会
- 17日 委員会(予備日)
- 22日 本会議(第8日)最終日



新年の出初式に欠かせない水口中学吹奏楽部▼新年早々冷え込み厳しい季節に隊列行進やパレードに演奏者として参加している▼裏方ではあるが、華やかな行事を引立てるなくてはならない存在だ▼行進の消防団員が見えなくなるまで、演奏は続く…。

